

## 令和5年度 事業報告

## 1. 奨学事業

## (1) 令和5年度 奨学生人数及び支給額

	当期実績		前期実績		当期計画	
	人数(内、新規)	支給額	人数	支給額	人数	支給額
高校奨学生	107人(42人)	29,580千円	106人	25,240千円	105人	29,100千円
大学奨学生	21人(5人)	13,230千円	19人	11,100千円	20人	12,900千円
計	128人(47人)	42,810千円	125人	36,340千円	125人	42,000千円

当期は、物価上昇による家計への影響を考慮し、前年度からの継続奨学生81人(高校生65人、大学生16人)に対し、1人年額6万円の追加給付を行いました。

## (2) 奨学生募集及び選考状況

	募集対象	募集先	募集時期	募集人数	応募者人数	選考委員会開催日	選考人数
令和5年度 高校奨学生	高校 2,3年生	県内高校 138校	R5.4.1~ R5.5.8	11人	24人	R5.5.23	13人※
令和6年度 高校奨学生	中学 3年生	県内中学 287校	R5.9.5~ R5.10.31	30人	53人	R5.11.16	32人※
令和6年度 大学奨学生	高校3年生 高専5年生	県内高校及び 高等専門学校	R5.5.31~ R5.7.31	5人	18人	R5.8.29	6人

※選外となった高校2,3年生11名並びに中学3年生21名には図書カードを支給。

## (3) 授与式・懇親会について

7月30日、グランドホテル浜松にて、奨学生や卒業奨学生、新規高校奨学生の引率教員他多くの皆様に参加いただき、「奨学生認定証授与式並びに懇親会」を開催しました。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、懇親会終了後のスズキ歴史館見学も再開しました。

《参加者》	高校奨学生	74名
	大学奨学生	14名
	卒業生	8名
	引率教諭	18名
	来賓・財団関係者	15名

計 129名

#### (4) 令和5年度卒業生

##### 卒業生の人数と進路

	大学 進学	専門学校 進学	就 職	大学院 進学	進 級	計
高校卒業生	30 人	4 人	4 人	—	—	38 人
大学卒業生	—	0 人	3 人	2 人	0 人	5 人

なお、高校奨学生には、当財団から理事長名の「祝詞（しゅくし）」と図書カード(5千円/人)を贈りました。

#### (5) 静岡文化芸術大学奨学金

静岡文化芸術大学の学生に対し、一層の向学心向上を奨励し、成績優秀な学生の修学環境を整備することを目的として奨学金を給付しています。

令和5年度は、同大学の学部3年生7人に、返済不要の奨学金1人30万円を支給しました。なお、奨学生は、学部1,2年時に優秀な成績を修めた者を、各学科（国際文化学科2名、デザイン学科3名、文化政策学科及び芸術文化学科各1名）より推薦いただき、理事会承認を経て決定しました。

また、令和6年3月に卒業となった令和4年度奨学生7人の内6人及び令和3年度奨学生1人からは、成績証明書と卒業レポートの提出を受けました。

## 2. 外国人学校支援事業

外国人就労者の子どもたちの学習環境を整えるため、浜松市西区雄踏町にある外国人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」の支援をしています。

令和5年度は、同校の運営状況を勘案し300万円の資金援助を行いました。

## 3. 特別支援学校支援事業

障害のある子どもたちが、スポーツや学習活動を通じてあらゆる可能性を見いだせるよう、静岡県内の特別支援学校36校のPTAに対し、児童・生徒が使用する物品38品(総額2,699万円、工事費等含む)を寄贈しました。

募集時期：令和5年6月15日から令和5年9月15日

選考委員会：令和5年10月11日

また、令和4年度に、特別支援学校におけるICT教育の促進支援として実施した電子黒板の寄贈（寄贈先32校、寄贈台数76台、総額2,257万円、設置費等含む）のうち、年度内での納品ができなかった4校分（寄贈台数11台、総額304万円）を令和5年度に納品しました。

(1) 令和5年度 寄贈結果

地区(全学校数)	当期実績		前期実績	
	寄贈校数	寄贈額	寄贈校数	寄贈額
東部地区(15校)	13校	9,615千円	9校	8,413千円
中部地区(11校)	10校	7,940千円	7校	6,569千円
西部地区(14校)	13校	9,438千円	10校	13,441千円
計(40校)	36校	26,993千円	26校	28,423千円

(2) 寄贈式並びに寄贈物品活用状況

2月6日、グランドホテル浜松において、寄贈先の校長並びにPTA会長他に参加いただき「特別支援学校支援事業 寄贈式」を開催しました。

《参加者》 PTA代表者 28名  
学校代表者 33名  
来賓、財団関係者 17名

計 78名

また、各学校に寄贈物品の活用状況を共有していただけるよう、「寄贈式」にて代表校に物品の活用状況を報告いただいた他、寄贈一年後と二年後には各学校より使用状況を報告いただき、それを「寄贈物品使用状況報告書」として冊子にまとめ、県内すべての特別支援学校に配布しました。

#### 4. 財団広報活動

奨学生の募集を学生本人のみならず保護者や関係者の方にも周知できるよう、奨学生募集ポスターを作成し、県内の中学校並びに高等学校に配布、さらに各奨学生の募集要項を「県民だより」に掲載しました。

また、広く財団の活動を紹介できるよう、リーフレットを作成しました。リーフレットやポスターは、県内の教育委員会や社会福祉協議会等にも配布しています。

以上

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため附属明細書は作成しません。